

とよなか

子ども達の豊かな成長・発達のために皆で力を合わせましょう！

教え子を再び戦場に送るな！ 2012年9月26日発行 NO.487

長時間労働解消、「休憩時間の確保」 必要なのは教職員増！

全教「勤務実態調査」で 教職員の勤務実態を明らかに！

「休憩時間の試行」「退勤調査」：

市教委はさまざまな取り組みを現場に求めて、教職員の長時間労働の解消や休憩時間の確保をすすめようとしてきました。

しかし、これらの問題解決にむけて、毎年、毎回のようには市教委がとりあげるのが「会議の精選」「学校行事の見直し」ということです。学校現場での努力のみを求めています。

何が教職員の長時間労働の原因なのか？

なぜ休憩時間が

とれないのか？

確かに会議の持ち方など工夫は必要です。しかし、会議を精選し、行事を見直して、長時間労働が解消し、休憩時間がとれるようになるかと考えて

いる教職員はほとんどいないでしょう。

全教豊中は求めます

圧倒的に不足している

教職員を増やすこと！ 休憩できる場所の確保！

○市独自の教員を配置して、少人数学級をすすめること。

小学校6年生の交換授業を条件に理科・体育の講師を配置する「教科担任制」事業を今年、豊中市ははじめました。現場の願いでも



ないこの事業、希望する学校も少ないのが実情です。

現場の願いは、1クラスの人数を減らすこと。ゆとりをもって子ども一人ひとりを見ていねいに見ることもでき、過密な労働を改善することにつながります。

○休憩室の整備をすすめること

妊娠している女性教職員や体調の悪い人がいても、ちよつと横になるような場所もないのが実態です。

これでは「休憩」を取りたくてもとれるわけがありません。

市教委「退勤調査」では、 教職員の勤務実態はわからない！

全教豊中は、これまで、出勤から退勤時刻、持ち帰り仕事や土日の出勤、休憩時間の取得など、全面的な勤務の実態調査をおこなうよう市教委に求めてきました。
全体的な勤務・労働実態を明らかにすることが必要です。

全教の「勤務実態調査」 「アンケート」をすすめる よう

全教は、文科省などに対して具体的な是正施策の推進を迫るために「勤務実態調査2012」を実施します。

全教豊中も、この調査を使って、豊中の教職員の実態、豊中の学校現場の実態を明らかにしていこうと考えています。
ご協力お願いします。



裏面
「勤務実態調査」
サンプル

